



調布市基本構想 意見交換 ワークショップ

自己紹介

横山 泰治 (よこやま やすはる)

一般社団法人サステナブルコミュニティ共創機構 代表理事
/ パラダイムシフトコミュニケーション®トレーナー
/ 官民共創・SDGsコーチ (各種SDGsカードゲーム公認ファシリテーター)

調布での20年の市民活動をベースにして、講師・ファシリテーターとして、主に行政・地域住民を中心に企業、教育機関、公益団体に対して過去700回、12,000名以上に、官民共創・SDGsの講演・ワークショップを開催。年間の登壇・講演は約180回。20年にわたるNPOでの地域活性化のノウハウと事例で、官民共創の結果を出すことを得意とする。また、日本のCSO(市民社会組織)のリーダーの一人として、2019G20サミット@大阪、2019, 2020のC20(Civil20)など国際会議にも日本のNPO・NGOの代表メンバーとして参加。個人と組織(地域)と世界をつなげる活動をしている。



調布発、調布着で活動しています。

1999年に調布市でNPO法人設立後、調布市観光協会の事務局として、観光案内所設立や広報・ホームページ開設・運営を担当し、花火大会実行委員会事務局、2004年の大河ドラマ「新選組！」まちおこし実行委員会の事務局を担当。その後複数のNPO法人の役員として活動しながら、国領の調布市市民活動支援センター立ち上げと運営に関わる中、2010年にNHK連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」放映を機に、市内の若年就労支援の一環として、市内の高校・大学生世代による観光案内所「ぬくもりステーション」を運営。現在は市のイベントや講座で恩返し中です。

●主な公的役職

調布市参加と協働のまちづくりアドバイザー、 第3次調布市地域福祉計画策定委員

第3回調布市男女共同参画の推進に関する検討会検討委員

調布市市民活動支援センター 運営委員、 調布市環境基本計画策定委員会委員等



東部シニア塾
全2回
カードゲームで
体感しよう!
SDGs

世界的に取り組みが盛んになっているSDGs。エス・ディー・ジーズ。17の目標を細かく勉強するのはなく、「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」「それによりどんな変化や可能性があるのか」を、まずはカードゲームを通して、多世代で体感してみませんか。

2030SDGsのやり方
参加者全員で作り出す2030年の世界。プロジェクト実行により、経済、環境、社会の3つの状況が刻々と変化します。例えば「交通インフラの整備」というプロジェクト実行では、経済がプラス、環境がマイナスになるという風にも、全員が行ったプロジェクトの結果、2030年の世界はどのようになるでしょうか。大丈夫!ファシリテーターが丁寧に説明しますので、やってみましょう!

2030 SDGs (2016年9月25日国連サミットで採択)
SDGsの17の目標を達成するために、各参加者が国の代表者になって、与えられたお金と時間を使いプロジェクトを実行することで、2030年のゴールまでの進捗を体験するゲームです。

講師の紹介
1970年生まれ。調布市在住。調布市立大卒業。調布市立大で教員として勤務。1999年調布市観光協会事務局に異動。2004年大河ドラマ「新選組!」まちおこし実行委員会事務局に異動。2010年NHK連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」放映を機に、市内の若年就労支援の一環として、市内の高校・大学生世代による観光案内所「ぬくもりステーション」を運営。現在は市のイベントや講座で恩返し中。

1. 本日のゴール

委員の皆さんそれぞれが、
暮らしたいと思う「20年後の調布」への
意見を出し合うことで、
様々な背景を持つ市民の私たちが
互いに理解し、認め合い、
調布市が目指す将来として共有し、
実現のための下地とする。

2. 次のステップは？

次回から始まる

「分科会」での検討

につながります。

3. 意見交換のデザイン

5人グループをつくり

他のグループと交流しながら

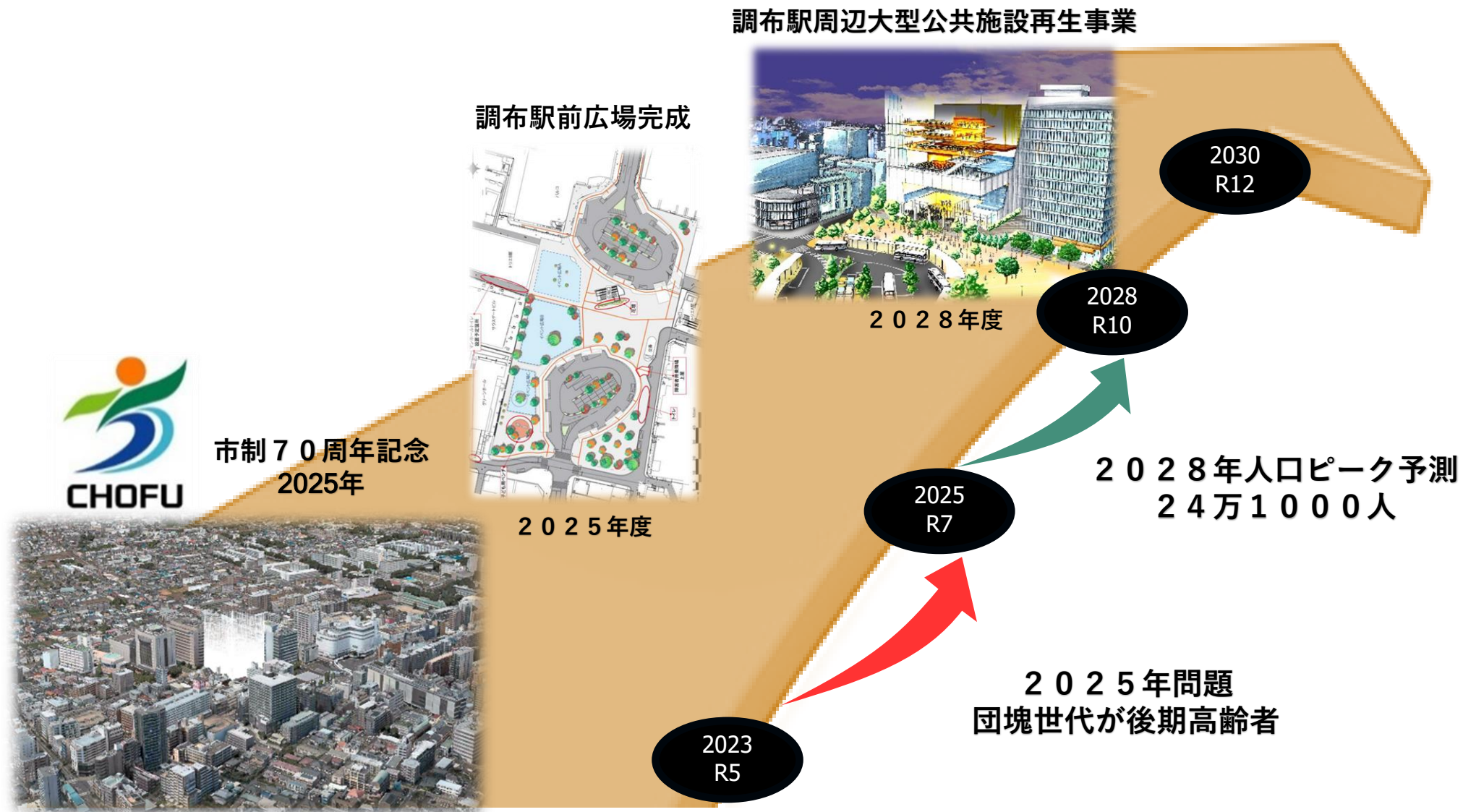
意見を出し合います。

4. 本日のテーマ

本日は3つのテーマは3つ。

「くらし」「活力」「つながり」について
意見を出し合います。

5.2030年の調布



文化・スポーツ

- 芸術・文化、スポーツ、生涯学習活動の推進
- 史跡・文化財の保存・活用
- 地域ゆかりの文化を生かした事業推進
- だれもがスポーツに親しむ機会の創出
- 東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による 多面的効果の創出
- FC東京と連携したスポーツ振興等の推進
- 調布駅周辺大型公共施設の再開発事業
- スポーツ施設の再編、整備
- 市内大学と連携した生涯学習事業 ほか

産業・観光・農業

- 金融機関等と連携した中小企業支援 ○創業・経営支援の推進
- 産学官民連携による産業振興
- 商工会・商店会と連携した市内消費促進・商業活性化の支援
- 多様な主体との連携による「水木マンガの生まれた街 調布」の推進
- 深大寺等の地域資源を活用した観光協会等との連携による観光振興
- 映画・映像関連企業と連携した「映画のまち調布」の推進
- フィルムミッションを核としたロケツーリズムの推進
- 都市農地の保全・活用 ○市民農園の運営
- 農と触れ合う機会創出 ○農業経営支援
- 市内農産物のPR、地産地消の推進
- 魅力発信、企業誘致、観光誘致、回遊促進に向けた広域連携 ほか

個に応じた教育

デジタルトランスフォーメーション

フェースフリーのまちづくり

災害に強いまち

地域共生社会の実現

豊かな芸術文化・スポーツ活動の推進

地域コミュニティの発展

産学官民連携での課題解決

健康長寿社会の実現

脱炭素社会への対応



駅前広場の賑わい

昼間人口の増加

有事の対応能力向上

切れ目ない支援の充実

財政の健全性維持

コミュニティ

- 市民活動支援、市民活動の活性化 ○コミュニティ施設(地域福祉センター・ふれあいの家)の運営、計画的な整備
- 地域で活躍する人材の育成 ○地区協議会との連携、連絡・情報提供体制の強化 ○消費生活相談、啓発事業 ほか

福祉・健康

- 地域福祉推進に向けたネットワーク充実
- 住民主体の交流活動の場の拡充
- 地域共生社会実現のモデル事業としての総合福祉センター整備事業の推進
- 高齢者のフレイル予防 ○ケアラー支援
- 健康寿命の延伸 ○感染症予防対策
- 障害者の高齢化への対応
- 計画的な重症障害者の通所施設整備
- 医療的ケア児・者への支援体制の充実
- 住宅セーフティネットの構築と運用
- 自殺対策 ほか

子ども・教育

- 妊娠期から子育て期の切れ目ない支援
- ひとり親や子どもへの学習・相談支援
- 地域で支える子育て支援 ○SDGs教育
- 個に応じたきめ細かな支援
- 保育園待機児童対策、学童クラブ入会 保留児童対策
- 人権・道徳教育の推進 ○ICT教育の推進
- 体力向上への支援 ○小中連携教育の推進
- コミュニティ・スクールの推進
- 食物アレルギー対策、食育の推進
- 学校施設の長寿命化、不足教室対応
- 通学路の安心 調布駅周辺大型公共施設再生事業

2040年(20年後) ちようふの未来を見据えた 今後10年間の取組(イメージ)

2040年(20年後の未来) CHOFU NEXT STAGE

労働力人口の減少

出生率の低下

経済格差の拡大

地震等の大規模災害の想定

気候変動による風水害の多発

地球温暖化の進行

市内高齢化率のピーク(2040年)
団塊ジュニア世代全てが65歳以上に

安全・安心(防災・防犯)

- 有事における対応能力の向上(対応する体制、組織連携)
- 災害時における自助・共助の取組推進
- フェースフリーやローリングストックの考え方による日常的な災害への備え
- 産学官民など多様な主体と連携した災害対応、避難所運営
- デジタル技術を活用した情報発信、災害対応、避難所運営
- ユニバーサルデザインを踏まえた避難所運営
- 産学官民など多様な主体と連携した防犯体制づくり
- 犯罪抑止対策の推進 ○建築物の耐震化・空き家対策 ほか

街づくり・道路・交通

- 駅広整備によるにぎわいや交流のある空間形成
- 地域エネルギー事業 ○東部地区交通環境の改善
- 多摩川住宅再生事業
- 各地区のまちづくり(調布駅周辺地区つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区、京王多摩川駅周辺地区、国領町8丁目周辺地区、深大寺地区、西調布駅周辺地区、北部地域)
- 産学官民連携による空き家活用
- シェアサイクルや走行空間整備による自転車活用推進 ○環境に配慮した道路の整備
- バリアフリー基本構想に基づく取組の推進
- 安全・安心に配慮した交通環境の確保 ほか

緑・環境

- ゼロカーボンシティ実現に向けた地球温暖化対策
- 省エネ、創エネ、蓄エネによる脱炭素なまちづくりの推進
- 再生可能エネルギーの利用拡大 ○気候変動への適応
- 環境配慮型ライフスタイルへの転換促進
- 生物多様性の保全と自然共生社会の形成
- 身近な水辺環境と崖線樹林地・里山の保全・活用
- 連携・協働による環境保全活動の推進
- 海洋汚染につながるプラスチック対策の取組
- 地域のニーズに合わせた公園・緑地等の整備と適切な維持管理 ○健全な水循環の維持・回復
- ごみの発生抑制と資源循環型社会の構築
- 下水道施設の老朽化・劣化対策の推進 ほか

行政改革の取組

- 行政手続のオンライン化 ○各自治体の独自システムの標準化・共通化 ○公金等のキャッシュレス推進 ○地域情報化推進
- 業務フローの抜本的見直しによるBPR ○AI・RPAの活用促進 ○デジタル人材活用(アドバイザー・任期付職員)
- スマートシティの取組推進 ○窓口のワンストップ化 ○総合的かつ計画的公共施設・インフラマネジメントの推進
- 調布駅周辺大型公共施設の再生事業 ○学校施設老朽化対策 ○働き方改革の取組推進 ○テレワーク、モバイルワーク環境の整備
- 女性職員の活躍推進 ○業務リスクの低減 ○参加と協働のまちづくり推進 ○市民活動・コミュニティの活性化
- 財政の健全性保持 ○公共施設運営等の在り方の検討 ほか

まちづくりの基本理念

- 人権に関する相談支援
- 多様性を認め合う社会の実現
- パートナーシップ制度への対応
- 平和祈念事業実施、戦争体験の継承
- 国際交流と多文化共生 ほか



調布駅前広場完成



2028年度

2028年人口ピーク予測
24万1000人

2025年度

2025年問題
団塊世代が後期高齢者

2023 R5

2025 R7

2031 R13

6. 私たちが暮らしたい2030年の調布

これが予測される2030年に
「暮らしやすく」「活力があり」
「つながりを感じる」調布は
どんなまちでしょうか。

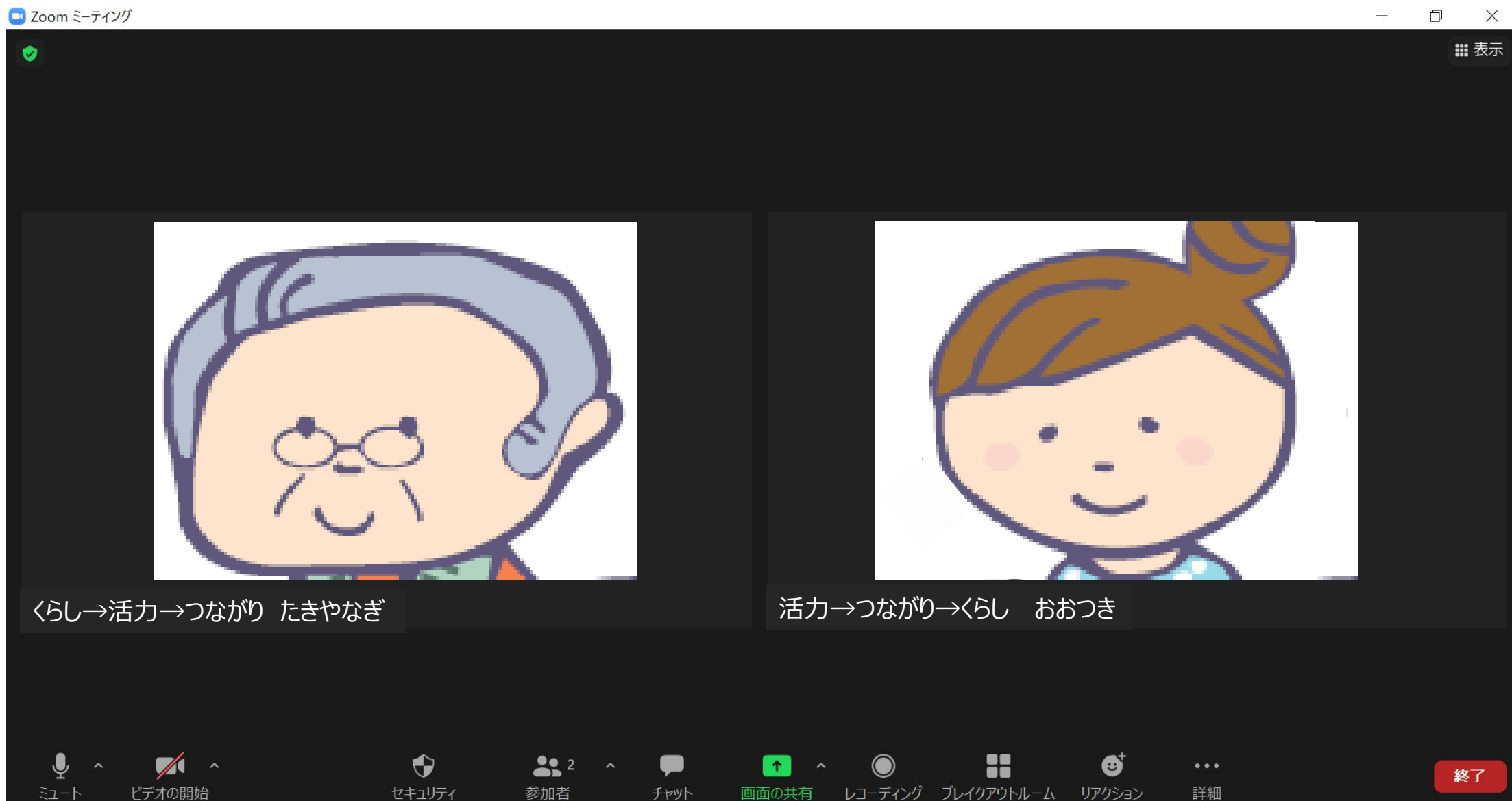
7. グループ構成はランダムに設定させていただきました

これから、5人ずつのグループにランダムにお分けしますが、その前に皆さんの表示名を情報追記・変更させていただきますので少々お待ちください。

8. テーマの順番を追記し、お名前をひらがなに変えさせていただきます

Zoom ミーティング

表示



くらし→活力→つながり たきやなぎ

活力→つながり→くらし おおつき

ミュート ビデオの開始 セキュリティ 参加者 2 チャット 画面の共有 レコーディング ブレイクアウトルーム リアクション 詳細 終了

9. その間に流れをご説明します

みなさんには、これから「ブレイクアウト
ルーム」というオンラインでのグループで、
1つのテーマについて15分間で意見を出し合ってください

10.その間に流れをご説明します

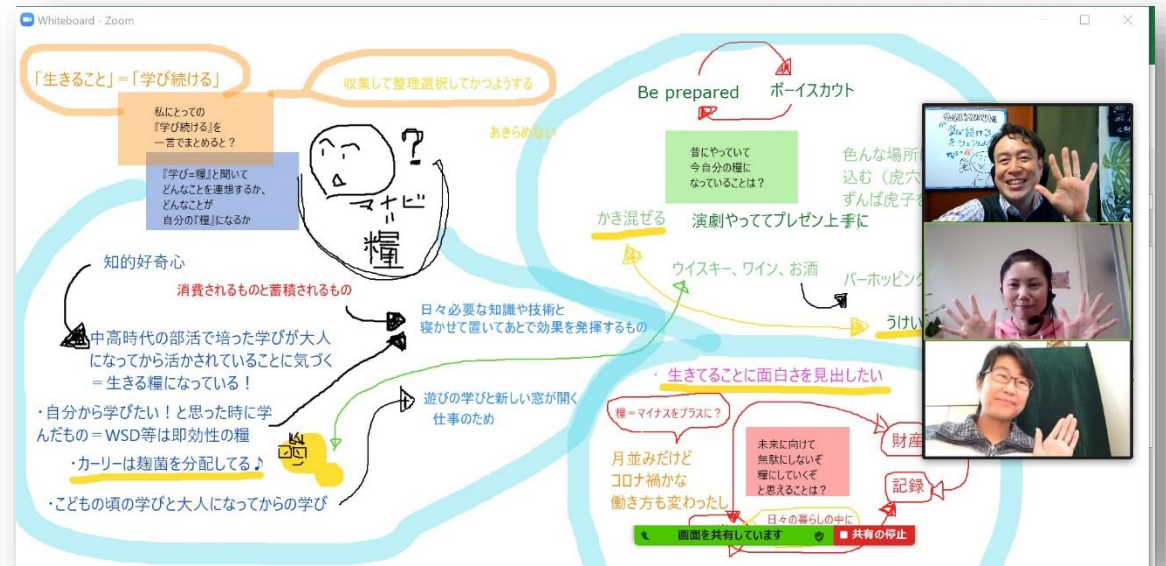
15分ごとに、グループのメンバーは入れ替わり、新しいメンバーで同じテーマについて意見を出し合います。

11.その間に流れをご説明します

各グループには一人だけ、事前にお問い合わせして残っている人がいるので、前のグループでどんな話だったか聞くことも可能です。

12.その間に流れをご説明します

文字やイラストで記録を残してくれる
ボランティアの方も
いるので、そちらも
ご参照ください。



13.その間に流れをご説明します

15分×3テーマで意見を出し合った後、最初のグループに戻ります。10分間、どのグループで、どんな意見があったか、お互いの体験を共有してみてください。

13. 準備ができたようなので・・・

始める前に、本日3つだけ
お約束いただきたいと思います。

14.本日のおやくそく事



お話好きは30%OFF、聴き上手は30%UP

→ 今日の場は、みんなの意見を出し合い、聴き合う場にしたいのです。
お話したい人はいつもの7割程度、いつも聴く人は3割増しでどうぞ。



比較や評価を手放して、違いを楽しむ

→ 今日の場合では、正解/不正解や、評価を手放して
自分と別の意見が出て、違いを楽しんでみましょう。



パクッてOK,かぶせてOK,で否定なし

→ 誰かの意見から、新しいアイデアや話題を生み出すのも、今日の場を
豊かにするポイント。否定でしぼませず、どんどん話を膨らましてはいかが？

15. それでは、いってらっしゃい！

どうぞ、楽しんできてください！

ご不明な点や困ったことは事務局が
巡回していますのでお気軽にどうぞ(^ ^)